

I 地域振興プラン(第2期)の推進

東日本大震災津波の教訓の伝承と情報発信

- 震災語り部ガイドの育成支援や様々な機会・手段を組み合わせた効果的な情報発信

コミュニティの維持や活性化

- 複雑化、多様化する課題を抱える被災者の中長期的な支援
- 災害公営住宅等でのコミュニティの維持・活性化支援

若者・女性などの活躍推進と地域づくり人材の育成

- 次代を担う若者や女性などの活躍推進
- 多文化共生への理解促進

再生可能エネルギーの導入促進

- 沿岸圏域の豊富な再生可能エネルギーの活用促進

U・Iターン、起業支援などによる移住・定住の促進

- 県外進学者のUターン就職支援

地域の農林水産物を生かした6次産業化

- 産直施設の経営力向上、ジビエ活用支援

地域材の安定供給と利活用の促進

- 森林認証材の利用拡大

II 重点事項の推進

1 自然減・社会減対策

ライフステージに応じた対策（転出抑制）、移住・定住支援

- 地域づくり人材育成
 - ・海と希望の学校事業(児童等の人材育成)
 - ・地域おこし協力隊[※]・ト事業、他
- 結婚支援
 - ・三陸縁結び支援事業
- U・Iターンの促進
 - ・雇用情報発信事業、他
- 産業分野の人材の確保・育成

3 DX

地域特性に応じた産業分野のDX推進

- 水産加工業
 - ・三陸水産加工業等支援事業費(DX人材確保セミナー)
 - ・いわて三陸水産販路多角化事業(ECによる販売力強化)
- 農林業
 - ・気仙地域スマート農業推進事業
 - ・スマート林業の実践によるコスト低減に向けた指導

2 GX

地球温暖化対策、森林資源の活用

- 再エネ導入促進
 - ・再エネ導入理解促進事業
- 持続的な森林資源の確保
 - ・林業新規参入者スキルアップ[※]事業
 - ・造林木シカ被害対策実証事業
- 地域材の利用促進
 - ・釜石地域材普及啓発事業
 - ・森林認証材の利用促進

4 安全・安心

災害や感染症等への対策

- 災害に強いまちづくり
 - ・海岸保全施設の整備
 - ・河川改修や河道掘削
 - ・砂防等土砂災害対策施設等の整備
- 防災知識の普及、防災意識の向上
 - ・地域防災サポーター等の活用
- 医療・介護人材の確保・育成
- 家畜衛生対策
- 風評対策

III 広域振興事業の推進

主要魚種の不漁対策、主要産業である水産加工業の振興、三陸への観光誘客拡大等による「より良い復興の推進とふるさと三陸の創造」

サーモン養殖の確立と販路拡大

県産サーモン養殖確立支援事業費

- 岩手大学と連携した効率的な海面養殖技術の開発とサーモン養殖経営体への普及
- 「いわて県産サーモン」の県内におけるブランドPRの推進
- 高次加工に向けた分析や加工新商品等の開発支援

水産加工業の振興

三陸水産加工業等支援事業費

- 事業者の経営課題の解決による水産加工業の経営力強化支援
- 食品開発、マーケティング、DXなどの専門知識を習得した人材の確保・育成支援
- 飲食業・宿泊業等と水産加工事業者との取引継続、拡大支援

交流人口の拡大

三陸観光推進リスタート事業費

- 震災学習を核とした教育旅行誘致などによる隣県・北海道からの誘客促進
- 旅行エージェント等へのプロモーションなどによる首都圏等からの誘客促進
- 三陸ジオパークをテーマとした誘客イベントの開催

地域振興プラン(第2期)の概要(沿岸広域振興圏)

振興施策の基本方向	重点施策項目	具体的推進方策
<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">I 復興まちづくりが着実に進み、東日本大震災津波の教訓が伝承されている、災害に強い地域</p> <p>復興まちづくりを着実に進め、東日本大震災津波の教訓を伝承するとともに、ハードとソフトを組み合わせた防災・減災対策などの取組を通じ、災害に強い地域づくりを進めます。</p> <p>【指標項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 東日本大震災津波の復旧・復興事業の完成率 ② 東日本大震災津波伝承館来館者数 【新規】 ③ 河川整備率 	<p>1 復興まちづくりを進め、東日本大震災津波の教訓を伝えます</p> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">    </div>	<ul style="list-style-type: none"> ① 復興まちづくりの基盤整備 【重点4：安全・安心】 ② 東日本大震災津波の教訓の伝承と情報発信 【重点3：DX】
	<p>2 自然災害に強いまちづくりを進めます</p> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">    </div>	<ul style="list-style-type: none"> ① 災害に強い道路ネットワークの構築 【重点4：安全・安心】 ② 洪水・土砂災害対策や津波災害対策の推進 【重点4：安全・安心】 ③ 「自助・共助・公助」を組み合わせた防災・減災対策の推進 【重点4：安全・安心】

振興施策の基本方向	重点施策項目	具体的推進方策
<p>Ⅱ 地域包括ケアシステムなどによる安心して暮らせる活力のある地域</p> <p>被災者一人ひとりに寄り添いながら、保健・医療・介護・福祉の連携体制の強化や健康づくりの推進、安心して子どもを生み育てることのできる環境づくりを進めるとともに、生活に密着した社会資本の整備を進めます。</p> <p>また、スポーツや文化の振興により、住民の豊かな生活の向上や地域の活性化を促進します。</p> <p>【指標項目】</p> <p>① 自殺死亡率[人口10万人当たり]</p> <p>② 災害公営住宅における自治会等設置数</p> <p>③ 汚水処理人口普及率</p> <p>④ 犬・猫の返還・譲渡率</p> <p>⑤ 地縁的な活動への参加割合【新規】</p> <p>⑥ 産業廃棄物の適正処理率【変更】</p> <p>⑦ 公共用水域のBOD（生物化学的酸素要求量）等環境基準達成率</p> <p>⑧ i-サポ入会登録者数【新規】</p> <p>⑨ がん、心疾患及び脳血管疾患で死亡する人数[10万人当たり]</p> <p>⑩ 保健所が行う健康づくり事業において体組成改善・健康効果を実感した割合【新規】</p> <p>⑪ スポーツ実施率</p> <p>⑫ 文化施設入場者数</p>	<p>3 被災者一人ひとりに寄り添い、心身ともに健やかで安心な暮らしができる環境をつくります</p> 	<p>① 被災者の健康づくりとこころのケア</p> <p>② コミュニティの維持や活性化に向けた取組の促進【変更】</p>
	<p>4 安心して快適な生活環境と活力ある地域社会をつくります</p> 	<p>① 食の安全・安心の確保</p> <p>② 生活の利便性向上につながる社会資本の整備と計画的な維持管理【重点4：安全・安心】</p> <p>③ 動物愛護思想の普及と動物のいのちを大切にする取組の推進</p> <p>④ 若者・女性などの活躍推進と地域づくり人材の育成支援【変更】【重点1：自然減・社会減対策】</p>
	<p>5 良好な自然環境の保全・活用と持続可能な生活環境の整備を進めます</p> 	<p>① 自然環境の保全と活用の推進【重点2：GX】</p> <p>② 廃棄物減量化対策などによる循環型地域社会の構築【重点2：GX】</p> <p>③ 再生可能エネルギーの導入促進などによる地球温暖化対策の推進【変更】【重点2：GX】</p>
	<p>6 安心して子どもを生み育てることができ、高齢者や障がい者がいきいきと、健やかに暮らせる社会をつくります</p> 	<p>① 結婚支援や、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援の推進【重点1：自然減・社会減対策】</p> <p>② 高齢者の生きがいづくりや社会参加活動の推進</p> <p>③ 障がい者の自立支援や社会参加の促進【重点1：自然減・社会減対策】</p> <p>④ 医療と介護をつなぐ情報ネットワークを活用した、保健・医療・介護・福祉が一体となった地域包括ケアシステムの推進【重点3：DX】</p>
	<p>7 安心して健やかに暮らせる地域医療の確保と健康づくりを進めます</p> 	<p>① 医療・介護人材の確保・育成や保健・医療・介護・福祉の連携強化【重点1：自然減・社会減対策】【重点3：DX】【重点4：安全・安心】</p> <p>② 食生活の改善や運動習慣の定着などによる生活習慣病の予防と高齢者の健康づくりの推進</p> <p>③ こころのケア対策などによる自殺対策の推進</p>
<p>8 スポーツ・文化を楽しみ、一人ひとりが豊かな生活を送ることができる活力あふれる地域をつくります</p> 	<p>① ラグビーワールドカップ2019™釜石開催や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会などを契機に、住民が生涯にわたりスポーツに親しむ取組の推進</p> <p>② 教育や健康、交流などスポーツの持つ多面的機能を生かした地域活性化の取組の推進</p> <p>③ 民俗芸能や若者の創意あふれる文化芸術活動など、地域の多様な文化や芸術活動を生かした地域活性化の取組の推進【重点1：自然減・社会減対策】</p>	

振興施策の基本方向	重点施策項目	具体的推進方策
<p>Ⅲ 豊富な地域資源や復興により整備された産業基盤、新たな交通ネットワークを生かし、地域経済をけん引する産業が持続的に成長する地域</p> <p>豊富な地域資源や復興により整備された産業基盤、東日本大震災津波からの復興を契機としたつながりや新しい交通ネットワークなどを活用し、生産性と付加価値が高い地域産業を育成するとともに、地域に住む人々の働く場の創出と労働環境の向上に取り組みます。</p> <p>【指標項目】</p> <p>① 従業者一人当たり製造品出荷額 ② 高卒者の圏域内就職率 ③ 1経営体当たり養殖生産額 ④ 農業産出額 ⑤ 木材生産産出額【変更】 ⑥ 観光客延べ宿泊者数 ⑦ 外国人観光客延べ宿泊者数 ⑧ 港湾取扱貨物量</p>	<p>9 生産性と付加価値の高いものづくり産業等を育てます</p> 	<p>① 中小企業が生産性と付加価値の向上による競争力の高いものづくり産業等の育成【重点3：DX】</p> <p>② 最新技術の活用や経営革新などによる水産加工業をはじめとするものづくり産業等の企業経営力の強化【重点3：DX】</p> <p>③ 三陸地域の産業を担う人材の育成【重点1：自然減・社会減対策】</p> <p>④ 東日本大震災津波発災後の企業間のつながりや新たな交通ネットワークを生かした販路拡大と事業展開の促進</p>
	<p>10 働く場の創出と地域に就業・定着できる環境をつくりま</p> 	<p>① 学生へのキャリア教育等による若者の定着促進【変更】【重点1：自然減・社会減対策】</p> <p>② U・Iターン、起業支援などによる移住・定住の促進【変更】【重点1：自然減・社会減対策】【重点3：DX】</p> <p>③ 潜在的な労働力の掘り起こしや多様な形態の就業の促進【重点1：自然減・社会減対策】【重点3：DX】</p>
	<p>11 漁業生産量の回復や水産物の高付加価値化により水産業を盛んにします</p> 	<p>① 漁業の生産量回復・生産性向上【重点3：DX】</p> <p>② 漁業担い手の確保・育成【重点1：自然減・社会減対策】</p> <p>③ 水産物の付加価値向上・販路拡大【重点3：DX】</p> <p>④ 漁港等の整備推進【重点2：GX】【重点4：安全・安心】</p>
	<p>12 地域特性を生かした生産性・収益性の高い農業を盛んにします</p> 	<p>① 地域農業を担う経営体の育成【重点1：自然減・社会減対策】【重点3：DX】</p> <p>② 地域特性を生かした農畜産物の産地力向上【重点2：GX】【重点3：DX】【重点4：安全・安心】</p> <p>③ 地域の農林水産物を生かした6次産業化や集落活動への支援【変更】【重点1：自然減・社会減対策】</p>
	<p>13 豊かな森林資源を生かした林業・木材産業を盛んにします</p> 	<p>① 意欲と能力のある林業経営体の育成と計画的な森林整備【重点1：自然減・社会減対策】【重点2：GX】【重点3：DX】【重点4：安全・安心】</p> <p>② 地域材の安定供給と利活用の促進【変更】【重点2：GX】</p> <p>③ 特用林産物の産地力向上</p>
	<p>14 多様な資源と新たな交通ネットワークを生かした観光産業を盛んにします</p> 	<p>① 地域資源と新たな交通ネットワークを生かした観光地域づくりの推進</p> <p>② 震災学習を核とした教育旅行の誘致、滞在型旅行商品の造成等に向けた観光情報発信力の強化や受入態勢の充実【変更】【重点3：DX】</p> <p>③ 内陸地域や東北・北海道・首都圏等と三陸地域を結び、外国人観光客も視野に入れた広域観光の推進【変更】【重点3：DX】</p>
	<p>15 整備が進む社会基盤を産業振興に生かします</p> 	<p>① 新たな交通ネットワークによる産業競争力の強化</p> <p>② 物流の高度化に向けた港湾機能の強化とポートセールスの推進</p>

令和5年度に重点的に取り組む項目・新たに取り組む項目（沿岸広域振興局）

※【本庁】：本庁事業、【広域】：広域振興事業、【地経費】：地域経営推進費

地域振興プラン	現状・課題	令和5年度の具体的な事業内容	備考																						
I 復興まちづくりが着実に進み、東日本大震災津波の教訓が伝承されている、災害に強い地域																									
<p>1 復興まちづくりを進め、東日本大震災津波の教訓を伝えます</p> <p style="background-color: #92d050; padding: 2px;">【重点4：安全・安心】</p>	<p>① 復興まちづくりの基盤整備 未完成の復旧・復興工事について早期の完成が必要</p> <p>■ 海岸保全施設</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #ffffcc;"> <th rowspan="2">市町村</th> <th rowspan="2">計画箇所数</th> <th colspan="4">完成箇所数（累計）</th> </tr> <tr style="background-color: #ffffcc;"> <th colspan="2">完成済（R4.9.30）</th> <th colspan="2">令和4年度末（予定）</th> </tr> <tr style="background-color: #ffffcc;"> <th></th> <th></th> <th>箇所（累計）</th> <th>割合</th> <th>箇所（累計）</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr style="background-color: #ffffcc;"> <td>完成施設 計</td> <td>52</td> <td>49</td> <td>94.2%</td> <td>51</td> <td>98.0%</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center;">  <p>閉伊川水門（宮古市）</p> </div>	市町村	計画箇所数	完成箇所数（累計）				完成済（R4.9.30）		令和4年度末（予定）				箇所（累計）	割合	箇所（累計）	割合	完成施設 計	52	49	94.2%	51	98.0%	<p>○ 海岸保全施設の整備 （宮古土木セ）</p> <p>■ 津波防災施設の復旧・整備 東日本大震災津波で被害を受けた津波防護施設の復旧・整備を推進（閉伊川水門）</p> <p>■ 水門の自動閉鎖化 土木工事の進捗と合わせ、自動閉鎖化を推進（閉伊川水門）</p>	<p>【本庁】</p>
市町村	計画箇所数			完成箇所数（累計）																					
		完成済（R4.9.30）		令和4年度末（予定）																					
		箇所（累計）	割合	箇所（累計）	割合																				
完成施設 計	52	49	94.2%	51	98.0%																				
<p style="background-color: #003366; color: white; padding: 2px;">【重点3：DX】</p>	<p>② 東日本大震災津波の教訓の伝承と情報発信 高田松原津波復興祈念公園や東日本大震災津波伝承館の訪問を契機とした各地を周遊する機会を創出し、沿岸地域全体での教訓の伝承に取り組むとともに、あらゆる機会・手段を組み合わせ、効果的な情報発信が必要</p> <div style="text-align: center;">  <p>震災教訓伝承発信ガイドセミナー</p> </div>	<p>○ 高田松原津波復興祈念公園の利活用促進 （大船渡土木セ）</p> <p>■ 適正な管理運営体制の構築 公園施設の管理運営に係る協議会等の定期的な開催や協働グループによる管理運営体制の構築</p> <p>○ 復興情報発信・震災教訓伝承事業 （経営企画部）</p> <p>■ 語り部団体等の育成支援 震災語り部ガイドの意見交換会等を通じて語り部団体等の育成を支援し、震災の教訓の伝承と情報発信を推進</p>	<p>【ゼロ予算】</p> <p>【地経費】</p>																						

地域振興プラン	現状・課題	令和5年度の具体的な事業内容	備考
<p>2 自然災害に強いまちづくりを進めます</p> <p>【重点4：安全・安心】</p>	<p>① 災害に強い道路ネットワークの構築 平成28年台風第10号による豪雨災害で、国道106号、国道455号など緊急輸送道路が各地で寸断。災害発生時における救援物資の輸送や救援活動が円滑に行われるよう、道路等の整備が必要</p>	<p>○ 緊急輸送道路等の整備 (土木部、宮古・大船渡・岩泉土木セ)</p> <p>■ 緊急輸送道路などの橋梁耐震化、通行危険箇所やあい路の解消、法面崩壊対策の推進</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・橋梁の耐震化(橋脚の強化等) 古廟橋(大槌町)、轆轤石橋(大船渡市)等 ・通行危険箇所あい路の解消(道路改良等) (国)340号和井内～押角(宮古市)等 ・法面崩壊対策(落石防護柵、落石防護ネット等) </div>	<p>【本庁】</p>
<p>【重点4：安全・安心】</p>	<p>② 洪水・土砂災害対策の推進 気候変動に伴い頻発・激甚化している洪水・土砂災害の被害から生命や財産を守るため、早期の施設整備が必要</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>小本川(岩泉町)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>尾崎白浜の沢(釜石市)</p> </div> </div>	<p>○ 洪水災害対策の推進 (土木部、宮古・大船渡・岩泉土木セ)</p> <p>■ 河川改修や河道掘削、立木伐採の推進</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・河川改修(二級河川小本川、気仙川等) ・河道掘削、立木伐採 </div> <p>○ 土砂災害対策の推進 (土木部、宮古・大船渡・岩泉土木セ)</p> <p>■ 砂防堰堤、急傾斜地崩壊対策施設等の整備推進</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・砂防：尾崎白浜の沢(釜石市)等 ・急傾斜地崩壊対策：大渡(釜石市)等 </div>	<p>【本庁】</p> <p>【本庁】</p>
<p>【重点4：安全・安心】</p>	<p>③ 「自助・共助・公助」を組み合わせた防災・減災対策の推進 新たに公表された日本海溝・千島海溝で発生する地震に伴う津波浸水想定等を踏まえた防災減災対策の推進が必要</p>	<p>○ 防災知識の普及、防災意識の向上の推進 (経営企画部)</p> <p>■ 地域防災サポーター等の活用促進</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>市町村防災担当者会議等の機会を利用し、地域コミュニティでの防災訓練等における地域防災サポーターの活用を促進</p> </div>	<p>【本庁】 【ゼロ予算】</p>

地域振興プラン	現状・課題	令和5年度の具体的な事業内容	備考
Ⅱ 地域包括ケアシステムなどによる安心して暮らせる活力のある地域			
<p>3 被災者一人ひとりに寄り添い、心身ともに健やかで安心な暮らしができる環境をつくります</p>	<p>① 被災者の健康づくりとこころのケアの推進 恒久的な住宅への転居に伴う生活環境の変化に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による生活様式の変化、外出機会や活動量の減少により、心身の疲労、体力の低下などの健康面での課題への支援が必要</p>  	<p>○ 被災地健康づくり推進事業 (保健福祉環境部、宮古・大船渡保健福祉環境セ)</p> <p>■ 食生活や運動などの生活習慣改善や健康体力づくりの支援</p> <p>体組成計を活用した体験交流型健康づくり講座の開催や被災者支援機関・団体等への健康管理機器の貸与及び活用を支援</p> <p>■ こころのケアの推進</p> <p>被災者のこころに寄り添う取組の支援、人材の育成などを関係機関と連携し実施</p>	【本庁】
	<p>② コミュニティの維持や活性化に向けた取組の促進 【変更】 災害公営住宅の約9割で自治会が組織されているものの、被災者の新たな住環境におけるコミュニティの維持や活性化に向けた支援の継続が必要</p>	<p>○ 地域コミュニティの維持・活性化事業 【新規】 (経営企画部)</p> <p>■ 被災者の安定した生活に向けた持続可能な地域コミュニティの維持・活性化支援</p> <p>地域コミュニティの維持・活性化について先進的な取組を実践する県内外の機関の担当者や専門家を講師とした研修会等の開催</p>	【地経費】

地域振興プラン	現状・課題	令和5年度の具体的な事業内容	備考
<p>4 安心して快適な生活環境と活力ある地域社会をつくります</p>	<p>① 食の安全・安心の確保 飲食店等における食中毒等の事故が依然としてみられることから、食品関係事業者への監視・指導により、住民の食の安全性に対する関心を一層高めることが必要</p>  <p>HACCPに沿った衛生管理宣言ステッカー</p>	<p>○ 食の安全・安心の確保を推進 (保健福祉環境部、宮古・大船渡保健福祉環境セ)</p> <p>■ HACCP(ハサップ)に沿った衛生管理の取組の支援</p> <p>食品衛生法に基づく監視・指導及び食品の収去検査や食品関係事業者を対象とした食品表示やHACCPに関する講習会を実施</p>	【本庁】
<p>【重点4:安全・安心】</p>	<p>② 生活の利便性向上につながる社会資本の整備と計画的な維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 沿岸圏域における汚水処理人口普及率は県全体を下回り、汚水処理施設の整備を促進することが必要 橋梁やトンネルなどの社会資本の計画的な維持管理が必要 	<p>○ 社会資本の整備と計画的な維持管理を推進 (土木部、宮古・大船渡・岩泉土木セ)</p> <p>■ 地域の実情に応じた公共下水や浄化槽施設の整備の促進</p> <p>汚水処理施設(浄化槽)の市町への補助金交付</p> <p>■ 計画的な維持管理、住民協働の維持管理の推進</p> <p>住民団体による道路や河川・海岸の草刈りや清掃等の活動に対して支援</p>	【本庁】
	<p>③ 動物愛護思想の普及と動物のいのちを大切にす る取組の推進 多頭飼育などの不適切な飼養に起因する動物の引き取りを減少させるため、動物愛護の取組を推進することが必要</p>  <p>動物ふれあいイベント</p>  <p>同行避難訓練</p>	<p>○ 人と動物のふれあい活動事業 (保健福祉環境部、宮古・大船渡保健福祉環境セ)</p> <p>■ 動物の飼主の責務である終生飼養や適正飼養の意識付けを推進</p> <p>動物愛護思想の普及啓発や災害時の動物救護対策のため、犬猫譲渡会、動物ふれあいイベント、ペットとの同行避難訓練を実施</p>	【地経費】

地域振興プラン	現状・課題	令和5年度の具体的な事業内容	備考																																																																								
<p>【重点1：自然減・社会減対策】</p>	<p>④ 若者・女性などの活躍推進と地域づくり人材の育成支援 【変更】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口減少、少子高齢化が進む沿岸圏域において、将来を見据えた活力ある地域づくりに向け、次代を担う若者や女性などが地域のけん引役として多方面で活躍できる環境づくりが必要 <p>【沿岸圏域の地域おこし協力隊 現役隊員数】</p> <table border="1" data-bbox="432 539 1137 767"> <thead> <tr> <th>市町村</th> <th>人数</th> <th>市町村</th> <th>人数</th> <th>市町村</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宮古市</td> <td>6</td> <td>釜石市</td> <td>10</td> <td>大船渡市</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>山田町</td> <td>2</td> <td>大槌町</td> <td>20</td> <td>陸前高田市</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>岩泉町</td> <td>20</td> <td></td> <td></td> <td>住田町</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>田野畑村</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>宮古地域</td> <td>31</td> <td>釜石地域</td> <td>30</td> <td>大船渡地域</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">圏域合計 74</p> <p style="text-align: center;">※令和4年8月1日時点</p> <ul style="list-style-type: none"> 労働者を中心に外国人県民等が増加傾向にあることから、多文化共生社会の実現に向けた取組が必要 <p>【沿岸圏域の在留外国人数】</p> <table border="1" data-bbox="432 1142 1137 1337"> <thead> <tr> <th>市町村</th> <th>在留外国人数</th> <th>市町村</th> <th>在留外国人数</th> <th>市町村</th> <th>在留外国人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宮古市</td> <td>130</td> <td>釜石市</td> <td>225</td> <td>大船渡市</td> <td>266</td> </tr> <tr> <td>山田町</td> <td>60</td> <td>大槌町</td> <td>49</td> <td>陸前高田市</td> <td>177</td> </tr> <tr> <td>岩泉町</td> <td>69</td> <td></td> <td></td> <td>住田町</td> <td>77</td> </tr> <tr> <td>田野畑村</td> <td>26</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>宮古地域</td> <td>285</td> <td>釜石地域</td> <td>274</td> <td>大船渡地域</td> <td>520</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">圏域合計 1,079</p> <p style="text-align: center;">出展：法務省「在留外国人統計」2021年12月末時点</p>	市町村	人数	市町村	人数	市町村	人数	宮古市	6	釜石市	10	大船渡市	4	山田町	2	大槌町	20	陸前高田市	7	岩泉町	20			住田町	2	田野畑村	3					宮古地域	31	釜石地域	30	大船渡地域	13	市町村	在留外国人数	市町村	在留外国人数	市町村	在留外国人数	宮古市	130	釜石市	225	大船渡市	266	山田町	60	大槌町	49	陸前高田市	177	岩泉町	69			住田町	77	田野畑村	26					宮古地域	285	釜石地域	274	大船渡地域	520	<p>○ 海と希望の学校事業 (経営企画部)</p> <p>■ 児童・生徒等を対象とした地域への郷土愛を持つ人材の育成 沿岸地域の研究機関等と連携し、児童・生徒等を対象とした三陸の海に関する興味・関心及び理解を促進するためのイベントの開催</p> <p>○ 三陸で暮らすライフスタイル創造事業 新規 (経営企画部)</p> <p>■ 中高生を対象とした将来的な地元での就職意識意欲の向上 三陸地域の中高生等を対象に、主にプライベート時間に視点を置いた三陸(地元)でのライフスタイル(趣味・余暇)を提案し、将来的な地元就職意欲の向上等による転出抑制やUターン意識醸成</p> <p>○ 地域おこし協力隊サポート事業 (経営企画部)</p> <p>■ 隊員相互の連携・交流ネットワーク形成支援 (一社)いわて地域おこし協力隊ネットワークと連携し、研修会等の開催による隊員の相互交流の促進、OB・OG等による現役隊員の活動支援などを通じて、隊員の任期終了後の定着を推進</p> <p>○ 沿岸地域国際交流・多文化共生推進事業 新規 (経営企画部)</p> <p>■ 沿岸圏域の住民の多文化共生に係る理解促進 技能実習生を始めとする在留外国人等と住民の円滑なコミュニケーションを推進するため、「やさしい日本語」の普及等に向けた研修会等の開催</p>	<p>【地経費】</p> <p>【地経費】</p> <p>【地経費】</p> <p>【地経費】</p> <p>【地経費】</p>
市町村	人数	市町村	人数	市町村	人数																																																																						
宮古市	6	釜石市	10	大船渡市	4																																																																						
山田町	2	大槌町	20	陸前高田市	7																																																																						
岩泉町	20			住田町	2																																																																						
田野畑村	3																																																																										
宮古地域	31	釜石地域	30	大船渡地域	13																																																																						
市町村	在留外国人数	市町村	在留外国人数	市町村	在留外国人数																																																																						
宮古市	130	釜石市	225	大船渡市	266																																																																						
山田町	60	大槌町	49	陸前高田市	177																																																																						
岩泉町	69			住田町	77																																																																						
田野畑村	26																																																																										
宮古地域	285	釜石地域	274	大船渡地域	520																																																																						

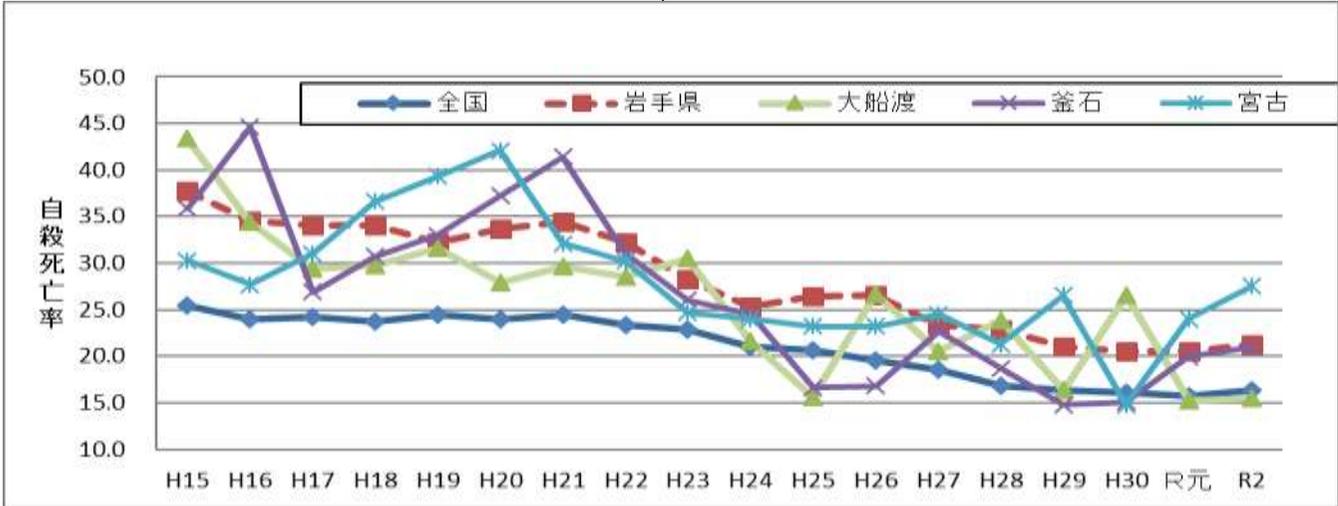
地域振興プラン	現状・課題	令和5年度の具体的な事業内容	備考
<p>5 良好な自然環境の保全・活用と持続可能な生活環境の整備を進めます</p> <p>【重点2：GX】</p>	<p>① 自然環境の保全と活用の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災津波など度重なる災害により環境活動フィールドや機会が減少 各環境団体の安定した活動への支援や、自然環境を守り、次代に引き継ぐ取組が必要  <p>海岸清掃活動</p>	<p>○ 沿岸地域環境学習推進事業 (保健福祉環境部、宮古・大船渡保健福祉環境セ)</p> <p>■ 環境活動団体の活性化、環境保全に対する意識の醸成と人材育成</p> <p>三陸ジオパークやみちのく潮風トレイル等の貴重な地域資源を活用し、地域の魅力を改めて発見・意識してもらうとともに、海洋ごみなどの地域課題に対する自発的な環境学習活動の取組を支援</p>	<p>【地経費】</p>
<p>【重点2：GX】</p>	<p>② 廃棄物減量化対策などによる循環型地域社会の構築</p> <p>産業廃棄物の小規模な不適正処理が依然としてみられることから、監視・指導を強化するとともに、廃棄物の減量化に向けて、多様な主体との連携によるリサイクルの促進や、3R（スリーアール）を基調とする循環型のライフスタイルの定着を図る取組が必要</p>	<p>○ ごみの減量化やリサイクルの促進 (保健福祉環境部、宮古・大船渡保健福祉環境セ)</p> <p>■ 適正処理や資源循環に関する意識啓発、ごみの分別回収や発生抑制に資する技術的助言等による市町村の支援</p> <p>市町村、警察などとの不法投棄監視合同パトロールの実施や処理業者、排出事業者等に対する説明会の開催</p>	<p>【本庁】</p>
<p>【重点2：GX】</p>	<p>③ 再生可能エネルギーの導入促進などによる地球温暖化対策の推進 【変更】</p> <p>地球温暖化防止に向け、エコライフの実践に係る普及啓発や再生可能エネルギー導入の促進など、住民や事業者など様々な主体による温室効果ガス排出量削減のための取組を支援・推進するとともに、GX（グリーン・トランスフォーメーション）を推進し、カーボンニュートラルと持続可能な新しい成長を目指す取組が必要</p>	<p>○ 地球温暖化対策の推進 (保健福祉環境部、宮古・大船渡保健福祉環境セ)</p> <p>■ 温室効果ガス排出削減の普及啓発と機運醸成</p> <p>「いわて地球環境にやさしい事業所」認定制度への事業者の参加や「地球温暖化を防ごう隊」への小学校の参加を促進</p> <p>○ 再生可能エネ導入促進に向けた理解促進事業 新規 (経営企画部)</p> <p>■ 沿岸圏域での導入促進に向けた市町村職員や住民の理解促進</p> <p>再生可能エネルギーの導入促進に向けた市町村職員向けの勉強会の開催、住民向けのセミナー等の開催</p>	<p>【本庁】</p> <p>【地経費】</p>

地域振興プラン	現状・課題	令和5年度の具体的な事業内容	備考
<p>6 安心して子どもを産み育てることができ、高齢者や障がい者がいきいきと、健やかに暮らせる社会をつくります</p> <p>【重点1：自然減・社会減対策】</p>	<p>① 結婚支援や、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない子育て支援の推進 沿岸圏域では、若者の流出が続き、結婚、出産の適齢人口が減少し相対的な未婚率の上昇につながっていること等により、合計出生率が低下していることから、住民が安心して家庭を持ち子育てしやすい環境を整備する取組が必要</p>  <p>R3 第1回婚活イベント</p>  <p>R3 第2回婚活イベント</p> <p>② 高齢者の生きがいづくりや社会参加活動の推進 沿岸圏域の高齢化率は県平均を上回っており、今後も上昇が続くと見込まれることから、高齢者が生きがいを感じながら、より健康でいきいきと暮らすことができる社会の構築が必要</p>	<p>○ 三陸縁結び支援事業 (宮古保健福祉環境セ)</p> <p>■ 結婚を望む男女への出会いの機会の提供</p> <p>・三陸ジオパークやみちのく潮風トレイル等の自然環境や観光資源を活用した婚活イベントを通じ、参加者に三陸地域の魅力を啓発し、婚活への意識を高めるとともに、三陸地域への愛着、地元定着の意識を醸成</p> <p>・”いきいき岩手”結婚サポートセンター（i-サポ）の周知</p> <p>○ 健康づくりや介護予防等の推進 (保健福祉環境部)</p> <p>■ 社会参加活動を通じた住民主体の健康づくりや介護予防の取組、要介護状態からの自立支援などを推進</p> <p>高齢者の健康づくりや介護予防などの取組推進</p> <p>■ 成年後見制度の利用促進及び認知症の人やその家族を支援するための制度の普及啓発を促進</p> <p>認知症サポーター、認知症キャラバン・メイトの普及啓発支援</p>	<p>【地経費】</p> <p>【本庁】</p>

地域振興プラン	現状・課題	令和5年度の具体的な事業内容	備考
<p>【重点1：自然減・社会減対策】</p>	<p>③ 障がい者の自立支援や社会参加の促進 障がい者が必要なサービスを受けながら希望する地域で安心して生活できるよう、就労・生活支援体制の充実が必要</p>	<p>○ 就労・生活支援体制等の拡充支援 (保健福祉環境部、宮古・大船渡保健福祉環境セ)</p> <p>■ 障がい者の自立支援や社会参加の促進体制の整備</p> <p>・市町村相談支援体制・事業者などによる就労・生活支援体制の拡充支援 ・障がい者自立支援協議会を通じた地域での受入体制整備支援</p> <p>■ ユニバーサルデザインの普及・利活用促進</p> <p>・電子マップへの登録促進・利用周知 ・「ひとにやさしい駐車場」の拡大・利用証制度の普及啓発</p>	<p>【本庁】</p>
<p>【重点3：DX】</p>	<p>④ 医療と介護をつなぐ情報ネットワークを活用した、保健・医療・介護・福祉が一体となった地域包括ケアシステムの推進 情報通信技術（ICT）を活用した地域医療情報ネットワークの活用が定着しており、今後、全県的な医療情報連携体制の支援のあり方の検討の中で、沿岸圏域の同ネットワークの充実強化に向けた地域の主体的取組を支援していくことが必要</p>	<p>○ 地域包括ケアシステムの推進 (保健福祉環境部)</p> <p>■ 地域包括ケアシステムの効果的な運用の支援</p> <p>地域医療情報ネットワークへの地域住民の参画促進</p>	<p>【本庁】</p>

地域振興プラン	現状・課題	令和5年度の具体的な事業内容	備考																																																									
<p>7 安心して健やかに暮らせる地域医療の確保と健康づくりを進めます</p> <p>【重点1：自然減・社会減対策】</p> <p>【重点3：DX】</p> <p>【重点4：安全・安心】</p>	<p>① 医療・介護人材の確保・育成や保健・医療・介護・福祉の連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師偏在指標において沿岸圏域は全国平均の半分以下と医師不足が厳しい状況 ヘルパー等の介護人材も不足の状況 地域を支える医療・介護人材の育成、確保の取組を一層推進することが必要 <p>■ 医師偏在指標(R2.3岩手県医師確保計画)</p> <table border="1" data-bbox="443 486 1066 600"> <thead> <tr> <th></th> <th>釜石</th> <th>宮古</th> <th>気仙</th> <th>岩手県</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指数</td> <td>119.3</td> <td>113.7</td> <td>153.1</td> <td>172.7</td> <td>239.8</td> </tr> <tr> <td>全国順位</td> <td>326位</td> <td>332位</td> <td>250位</td> <td>46位</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ 介護職員の有効求人倍率(R3.4)</p> <table border="1" data-bbox="443 651 963 756"> <thead> <tr> <th></th> <th>釜石</th> <th>宮古</th> <th>気仙</th> <th>岩手県</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護職</td> <td>2.34</td> <td>1.36</td> <td>1.12</td> <td>1.97</td> </tr> <tr> <td>全産業</td> <td>0.89</td> <td>0.99</td> <td>1.07</td> <td>0.98</td> </tr> </tbody> </table>		釜石	宮古	気仙	岩手県	全国	指数	119.3	113.7	153.1	172.7	239.8	全国順位	326位	332位	250位	46位	-		釜石	宮古	気仙	岩手県	介護職	2.34	1.36	1.12	1.97	全産業	0.89	0.99	1.07	0.98	<p>○ 医療・介護人材の確保 (保健福祉環境部、宮古・大船渡保健福祉環境セ)</p> <p>■ 医療人材の確保</p> <p>・医療系職業を紹介するリーフレットの作成 ・医学部進学を目指す中高生等を支援 ・医大生や臨床研修医研修の受け入れ</p> <p>■ 介護人材の確保</p> <p>職員の勤務環境向上に向けた研修会及び相談会を開催</p>	<p>【本庁】</p>																								
	釜石	宮古	気仙	岩手県	全国																																																							
指数	119.3	113.7	153.1	172.7	239.8																																																							
全国順位	326位	332位	250位	46位	-																																																							
	釜石	宮古	気仙	岩手県																																																								
介護職	2.34	1.36	1.12	1.97																																																								
全産業	0.89	0.99	1.07	0.98																																																								
	<p>② 食生活の改善や運動習慣の定着などによる生活習慣病の予防と高齢者の健康づくりの推進</p> <p>沿岸圏域は、65歳未満の生活習慣に起因する死亡率が高く、働く世代への生活習慣改善の取組強化や健康づくりの取組促進が必要</p> <p>■ 65歳未満年齢調整死亡率(3年平均・人口10万対)</p> <table border="1" data-bbox="443 991 1137 1414"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">がん</th> <th>心疾患</th> <th>脳血管疾患</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">宮古</td> <td>H25-27</td> <td>55.0</td> <td>25.9</td> <td>19.0</td> </tr> <tr> <td>H28-30</td> <td>45.0</td> <td>20.3</td> <td>17.5</td> </tr> <tr> <td>H29-31</td> <td>46.7</td> <td>21.2</td> <td>16.4</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">釜石</td> <td>H25-37</td> <td>60.2</td> <td>20.5</td> <td>19.2</td> </tr> <tr> <td>H28-30</td> <td>52.5</td> <td>27.8</td> <td>23.7</td> </tr> <tr> <td>H29-31</td> <td>51.4</td> <td>26.4</td> <td>20.9</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">大船渡</td> <td>H25-27</td> <td>48.7</td> <td>17.8</td> <td>11.7</td> </tr> <tr> <td>H28-30</td> <td>52.7</td> <td>24.3</td> <td>12.9</td> </tr> <tr> <td>H29-31</td> <td>53.1</td> <td>26.2</td> <td>13.2</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">岩手県</td> <td>H25-27</td> <td>46.7</td> <td>17.6</td> <td>13.9</td> </tr> <tr> <td>H28-30</td> <td>45.9</td> <td>16.9</td> <td>12.9</td> </tr> <tr> <td>H29-31</td> <td>45.1</td> <td>16.2</td> <td>13.2</td> </tr> </tbody> </table>		がん		心疾患	脳血管疾患	宮古	H25-27	55.0	25.9	19.0	H28-30	45.0	20.3	17.5	H29-31	46.7	21.2	16.4	釜石	H25-37	60.2	20.5	19.2	H28-30	52.5	27.8	23.7	H29-31	51.4	26.4	20.9	大船渡	H25-27	48.7	17.8	11.7	H28-30	52.7	24.3	12.9	H29-31	53.1	26.2	13.2	岩手県	H25-27	46.7	17.6	13.9	H28-30	45.9	16.9	12.9	H29-31	45.1	16.2	13.2	<p>○ 生活習慣病予防等の推進 (保健福祉環境部、宮古・大船渡保健福祉環境セ)</p> <p>■ 働く世代の体験型・参加型健康づくり応援事業</p> <p>・体験型健康づくりチャレンジ事業の実施と参加企業が取組を継続できるよう支援 ・健康経営優良取組事例紹介等により取組拡大を推進</p> <p>■ 健康づくりを実践しやすい食の環境整備</p> <p>テイクアウトを行う飲食店に対する栄養成分表示の取組支援とフォローアップ</p>	<p>【本庁】</p>
	がん		心疾患	脳血管疾患																																																								
宮古	H25-27	55.0	25.9	19.0																																																								
	H28-30	45.0	20.3	17.5																																																								
	H29-31	46.7	21.2	16.4																																																								
釜石	H25-37	60.2	20.5	19.2																																																								
	H28-30	52.5	27.8	23.7																																																								
	H29-31	51.4	26.4	20.9																																																								
大船渡	H25-27	48.7	17.8	11.7																																																								
	H28-30	52.7	24.3	12.9																																																								
	H29-31	53.1	26.2	13.2																																																								
岩手県	H25-27	46.7	17.6	13.9																																																								
	H28-30	45.9	16.9	12.9																																																								
	H29-31	45.1	16.2	13.2																																																								

地域振興プラン	現状・課題	令和5年度の具体的な事業内容	備考
	<p>③ こころのケア対策などによる自殺対策の推進 東日本大震災津波からの復興に伴う生活環境の変化や新型コロナウイルス感染症の感染拡大による生活様式の変化によるストレスなどがこころの健康に影響を与え、自殺リスクの増加が懸念されることから、市町村・関係機関・民間団体の連携強化と、自殺対策の推進が必要</p>	<p>○ 自殺対策の推進 (保健福祉環境部、宮古・大船渡保健福祉環境セ)</p> <p>■ 企業等におけるメンタルヘルスの取組促進 事業所への出前講座、メンタルヘルス対策の取組支援</p> <p>■ 地域で見守り支え合う取組みを支援 傾聴ボランティアの育成と活動の支援</p> <p>■ 自殺対策関係者の人材を育成 自殺対策に取り組む関係者の育成と連携強化のための相談支援実務者連絡会の開催</p>	<p>【本庁】</p>



地域振興プラン	現状・課題	令和5年度の具体的な事業内容	備考
<p>8 スポーツ・文化を楽しみ、一人ひとりが豊かな生活を送ることができる活力あふれる地域をつくります</p>	<p>① 住民が生涯にわたりスポーツに親しむ取組の推進 釜石シーウェイブスRFCと連携したスポーツへの関心を高める取組が必要</p> <p>② 教育や健康、交流などスポーツの持つ多面的機能を生かした地域活性化の取組の推進 ラグビーワールドカップ2019™釜石開催などによるスポーツへの関心の高まりを生かした更なるスポーツ振興の推進が必要</p>  <p>『黄金の國、いわて。』Presents マッチ</p>	<p>○ 三陸スポーツ推進事業</p> <p>新規 (経営企画部)</p> <p>■ プロスポーツチームと連携した「ラグビー県いわて」の推進 管内全体でのファン拡大に向け、イベント開催への協力等釜石シーウェイブスRFCとの連携を推進</p> <p>■ 誰もが気軽にスポーツを楽しめる機会の創出 総合型スポーツクラブ等と連携したスポーツ体験会等の開催</p>	<p>【地経費】</p>
<p>【重点1：自然減・社会減対策】</p>	<p>③ 民俗芸能や若者の創意あふれる文化芸術活動など、地域の多様な文化や芸術活動を生かした地域活性化の取組の推進 文化芸術に触れる機会や交流の場の創出、文化芸術に携わる人材の育成等による地域活性化の取組の推進が必要</p>  <p>三陸篝火芸能彩</p>	<p>○ 三陸地域の文化芸術活動促進事業</p> <p>新規 (経営企画部)</p> <p>■ 文化芸術情報の発信と活動の担い手の育成支援 芸術家との交流機会の創出、地域の文化芸術活動に親しむプログラムの実施</p>	<p>【地経費】</p>

地域振興プラン	現状・課題	令和5年度の具体的な事業内容	備考																																												
Ⅲ 豊富な地域資源や復興により整備された産業基盤、新たな交通ネットワークを生かし、地域経済をけん引する産業が持続的に成長する地域																																															
<p>9 生産性と付加価値の高いものづくり産業等を育てます</p> <p>【重点3：DX】</p> <p>【重点3：DX】</p>	<p>① 中小企業の生産性と付加価値の向上による競争力の高いものづくり産業等の育成 人口減少等により労働力不足が顕著となっており、人材確保とともに省力化設備の導入や経営改善等による生産性向上を図ることが必要</p> <p>② 最新技術の活用や経営革新などによる水産加工業をはじめとするものづくり産業等の企業経営力の強化 水産加工事業者の自社の強みを生かした競争力のある製品生産、消費者ニーズを反映した製品の開発・生産を促進していくためには、外部環境の変化に対応できる中長期的な生産戦略や経営戦略策定等による経営力強化の支援が必要</p>	<p>○ 三陸水産加工業等支援事業費 一部新規 (産業振興室)</p> <p>■ 水産加工業の経営力強化の支援</p> <p>・中小企業基盤整備機構の支援メニューを活用し、水産加工事業者が抱える様々な経営課題の解決に向けたサポートを実施</p> <p>・経営支援コーディネーターを配置し伴走支援を実施</p> <p>○ ものづくり産業経営力強化支援事業 新規 (産業振興室)</p> <p>■ ものづくり産業の経営力強化</p> <p>中小企業基盤整備機構の支援メニューやPwCジャングループの経営支援の活用を促進</p> <p>■2020年圏域内主要業種別製造品出荷額及び従業者数(大企業除く ※2)</p> <table border="1" data-bbox="972 863 1771 1098"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">製造品出荷額</th> <th colspan="2">従業者数</th> </tr> <tr> <th>単位:万円</th> <th>全体比</th> <th>単位:人</th> <th>全体比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>圏域内計</td> <td>18,824,961</td> <td></td> <td>9,950</td> <td></td> </tr> <tr> <td>食料品製造業</td> <td>9,011,975</td> <td>47.87%</td> <td>4,289</td> <td>43.11%</td> </tr> <tr> <td>木材木製品製造業(家具を除く)</td> <td>2,898,000</td> <td>15.39%</td> <td>907</td> <td>9.12%</td> </tr> <tr> <td>窯業土石製品製造業</td> <td>1,510,405</td> <td>8.02%</td> <td>599</td> <td>6.02%</td> </tr> <tr> <td>金属製品製造業</td> <td>850,688</td> <td>4.52%</td> <td>704</td> <td>7.08%</td> </tr> <tr> <td>生産用機械器具製造業</td> <td>655,352</td> <td>3.48%</td> <td>581</td> <td>5.84%</td> </tr> <tr> <td>電子部品デバイス電子回路製造業</td> <td>631,715</td> <td>3.36%</td> <td>542</td> <td>5.45%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 上位6業種を抜粋 ※2 大企業とは、日本製鉄、SMC、太平洋セメント、東北ヒロセ電機 ※3 出典：2020年岩手県の工業</p>		製造品出荷額		従業者数		単位:万円	全体比	単位:人	全体比	圏域内計	18,824,961		9,950		食料品製造業	9,011,975	47.87%	4,289	43.11%	木材木製品製造業(家具を除く)	2,898,000	15.39%	907	9.12%	窯業土石製品製造業	1,510,405	8.02%	599	6.02%	金属製品製造業	850,688	4.52%	704	7.08%	生産用機械器具製造業	655,352	3.48%	581	5.84%	電子部品デバイス電子回路製造業	631,715	3.36%	542	5.45%	<p>【広域】</p> <p>【地経費】</p>
	製造品出荷額			従業者数																																											
	単位:万円	全体比	単位:人	全体比																																											
圏域内計	18,824,961		9,950																																												
食料品製造業	9,011,975	47.87%	4,289	43.11%																																											
木材木製品製造業(家具を除く)	2,898,000	15.39%	907	9.12%																																											
窯業土石製品製造業	1,510,405	8.02%	599	6.02%																																											
金属製品製造業	850,688	4.52%	704	7.08%																																											
生産用機械器具製造業	655,352	3.48%	581	5.84%																																											
電子部品デバイス電子回路製造業	631,715	3.36%	542	5.45%																																											
<p>【重点1：自然減・社会減対策】</p>	<p>③ 三陸地域の産業を担う人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中長期的な経営戦略を展開していくためには、専門的な知識を習得した大卒者やU・Iターン者等の人材が必要 ・中小の製造業においては、計画的な人材育成を行うことが困難な事業者もあるため、生産の中核を担う人材や後継者の育成が必要 	<p>○ 三陸水産加工業等支援事業費 一部新規 (産業振興室)</p> <p>■ 専門人材確保の支援</p> <p>大卒者・中途採用者の市場状況に精通した民間企業との連携による専門知識を習得した人材確保に必要なノウハウの習得、いわて産業振興センターとの連携によるDX人材の確保に向けたセミナー等を開催</p>	<p>【広域】</p>																																												

地域振興プラン	現状・課題	令和5年度の具体的な事業内容	備考																																																														
	<p>④ 東日本大震災津波発災後の企業間のつながりや新たな交通ネットワークを生かした販路拡大と事業展開の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 中小水産加工業の取引先である飲食・宿泊業者等は厳しい環境下であり、事業継続ができるよう経営改善支援を行い、水産加工業者との取引を継続、拡大させることが必要 新規顧客を開拓するには対面での商談会が有効であることから、事業者に対し商談会への出席を促していくことが必要 	<p>○ 三陸水産加工業等支援事業費 一部新規 (産業振興室)</p> <p>■ 水産加工業取引先等の支援</p> <p>地元の飲食・宿泊・小売事業者等の企業経営に関する支援を実施し、水産加工業との取引の継続や拡大を支援</p> <p>○ いわて三陸食産業競争力強化支援事業 (産業振興室)</p> <p>■ 食産業の販路拡大の支援</p> <p>販路拡大の創出支援、新たな交通ネットワークを活用した低コスト物流・販路開拓</p>	<p>【広域】</p> <p>【地経費】</p>																																																														
<p>10 働く場の創出と地域に就業・定着できる環境をつくります</p> <p>【重点1：自然減・社会減対策】</p>	<p>① 学生へのキャリア教育等による若者の定着促進 [変更]</p> <ul style="list-style-type: none"> 若者の地元への就職意識を高めるため、地元企業への理解を深める取組が必要 管内の学生が就職した企業へのフォローアップ、社内コミュニケーションやモチベーションの醸成等により、職場定着率をさらに高める取組が必要 <p>■管内就職率 (単位:%)</p> <table border="1" data-bbox="427 1107 1167 1361"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H31年3月</th> <th colspan="2">R2年3月</th> <th colspan="2">R3年3月</th> <th colspan="2">R4年3月</th> </tr> <tr> <th>県内</th> <th>管内</th> <th>県内</th> <th>管内</th> <th>県内</th> <th>管内</th> <th>県内</th> <th>管内</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宮古</td> <td>65.7</td> <td>44.3</td> <td>63.7</td> <td>38.2</td> <td>78.4</td> <td>48.9</td> <td>73.8</td> <td>49.7</td> </tr> <tr> <td>釜石</td> <td>70.0</td> <td>61.9</td> <td>68.6</td> <td>57.1</td> <td>79.8</td> <td>68.1</td> <td>73.5</td> <td>52.0</td> </tr> <tr> <td>大船渡</td> <td>76.8</td> <td>62.4</td> <td>76.7</td> <td>54.3</td> <td>75.9</td> <td>58.6</td> <td>78.4</td> <td>54.6</td> </tr> <tr> <td>管内計</td> <td>69.9</td> <td>54.5</td> <td>68.5</td> <td>47.3</td> <td>78.0</td> <td>56.5</td> <td>74.9</td> <td>51.6</td> </tr> <tr> <td>県内計</td> <td>69.0</td> <td>—</td> <td>68.5</td> <td>—</td> <td>71.4</td> <td>—</td> <td>74.1</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		H31年3月		R2年3月		R3年3月		R4年3月		県内	管内	県内	管内	県内	管内	県内	管内	宮古	65.7	44.3	63.7	38.2	78.4	48.9	73.8	49.7	釜石	70.0	61.9	68.6	57.1	79.8	68.1	73.5	52.0	大船渡	76.8	62.4	76.7	54.3	75.9	58.6	78.4	54.6	管内計	69.9	54.5	68.5	47.3	78.0	56.5	74.9	51.6	県内計	69.0	—	68.5	—	71.4	—	74.1	—	<p>○ 若者定着及び産業人材育成事業 (産業振興室、宮古・大船渡地域振興セ)</p> <p>■ キャリア教育による若年層の定着</p> <p>小中高生等を対象として、地域企業の見学会や企業による出前授業、若手社員との交流会等を組み合わせ、地元企業の理解醸成の促進と若年者の圏域内就職率の向上を推進</p> <p>○ 産業人材確保・育成事業 (若者定着地域人材育成事業) (産業振興室)</p> <p>■ 若手人材の採用・定着に向けた企業の魅力向上や採用強化支援</p> <p>若手人材の確保、採用力の強化に向けた企業実践型の勉強会等を実施</p>	<p>【地経費】</p> <p>【地経費】</p>
	H31年3月		R2年3月		R3年3月		R4年3月																																																										
	県内	管内	県内	管内	県内	管内	県内	管内																																																									
宮古	65.7	44.3	63.7	38.2	78.4	48.9	73.8	49.7																																																									
釜石	70.0	61.9	68.6	57.1	79.8	68.1	73.5	52.0																																																									
大船渡	76.8	62.4	76.7	54.3	75.9	58.6	78.4	54.6																																																									
管内計	69.9	54.5	68.5	47.3	78.0	56.5	74.9	51.6																																																									
県内計	69.0	—	68.5	—	71.4	—	74.1	—																																																									

地域振興プラン	現状・課題	令和5年度の具体的な事業内容	備考																								
	<ul style="list-style-type: none"> 建設業については、若年層の新規就業の割合が低調であり、次世代への技術の継承などに支障があることから、安定的な担い手確保が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の建設企業の担い手確保、労働環境の整備、技術力・生産性の向上 (土木部、宮古・大船渡・岩泉土木セ) ■ 施設の維持管理や災害発生時対応を担う建設業の担い手育成・確保、新規入職者の安定的な確保 <ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用工事の発注拡大、週休2日工事の推進 ・小中学生及び高校生を対象に現場見学会、出前講座の実施 	<p>【本庁】</p> <p>【地経費】</p>																								
<p>【重点1：自然減・社会減対策】</p> <p>【重点3：DX】</p>	<p>② U・Iターン、起業支援などによる移住・定住の促進 【変更】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外に転出した人材のUターン就職や、復興支援などにより転入してきた人材の定住促進が必要 <p>■U・Iターン就職支援者数</p> <table border="1" data-bbox="439 834 1144 1002"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値[累計]</td> <td>140人</td> <td>190人</td> <td>275人</td> </tr> <tr> <td>実績[累計] ※</td> <td>172人</td> <td>248人</td> <td>280人</td> </tr> <tr> <td>(参考)インターンシップ実績数 ※</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業所数</td> <td>36社</td> <td>34社</td> <td>18社</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>68名</td> <td>76名</td> <td>32名</td> </tr> </tbody> </table> <p>※大学生のインターンシップコーディネーター事業を行っているNPO法人wiz、(株)パソナ東北創生の実績によるもの。</p>		R1	R2	R3	目標値[累計]	140人	190人	275人	実績[累計] ※	172人	248人	280人	(参考)インターンシップ実績数 ※				事業所数	36社	34社	18社	参加者数	68名	76名	32名	<ul style="list-style-type: none"> ○ 雇用情報発信強化事業 新規 (産業振興室) ■ 高校生や圏域外へ転出した若者への地元で働く意識の醸成 <ul style="list-style-type: none"> 沿岸地域で働くメリットやUターン就職の情報発信 ○ U・Iターン促進事業 新規 (産業振興室) ■ 県内外からの人材確保 <ul style="list-style-type: none"> 人口減少による圏域内企業の人材不足に対応するため、大学生等を対象とした情報発信等により、県内外からの人材確保や学生のU・Iターンに関する支援を実施 	<p>【地経費】</p> <p>【地経費】</p>
	R1	R2	R3																								
目標値[累計]	140人	190人	275人																								
実績[累計] ※	172人	248人	280人																								
(参考)インターンシップ実績数 ※																											
事業所数	36社	34社	18社																								
参加者数	68名	76名	32名																								
<p>【重点1：自然減・社会減対策】</p> <p>【重点3：DX】</p>	<p>③ 潜在的な労働力の掘り起こしや多様な形態の就業の促進</p> <p>女性や高齢者等の多様なニーズに応じた働きやすい職場環境づくりを進めるため、地域の雇用情勢の把握に努め、関係機関が連携して労働力を確保する取組が必要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 企業の働き方改革の推進 (産業振興室) ■ 働きやすい職場環境づくりの促進 <ul style="list-style-type: none"> 「いわて女性活躍企業等認定」、「いわて子育てにやさしい企業等認証」等の促進 	<p>【本庁】</p>																								

地域振興プラン	現状・課題	令和5年度の具体的な事業内容	備考															
<p>11 漁業生産量の回復や水産物の高付加価値化により水産業を盛んにします</p> <p>【重点3：DX】</p>	<p>① 漁業の生産量回復・生産性向上 新たな養殖業としてサーモン養殖の事業化が進んでいることから、持続的なサーモン養殖の実現に向けて、養殖技術開発のほか、販路確保や付加価値向上等に向けた取組が必要</p>  	<p>○ 県産サーモン養殖確立支援事業費 一部新規（水産部、宮古・大船渡水産振興セ）</p> <p>■ 養殖生産効率化技術開発 岩手大学との連携により、飼料給餌の効率化や海水適応能力の向上等に関する養殖技術を開発</p> <p>■ いわて県産サーモンPRキャンペーン 県内量販店及び飲食店での県産サーモンのPRキャンペーン、料理レシピコンテストを実施</p> <p>■ 「いわて県産サーモン」の加工品等の開発支援 サーモンの高次加工に係る講習会を開催するとともに、事業者による新商品開発を促進</p>	<p>【広域】</p>															
<p>【重点1：自然減・社会減対策】</p>	<p>② 漁業担い手の確保・育成 漁業センサスによる管内就業者数（H30）は10年で36%減少したほか、高齢化が進行していることから、新規就業者の確保や中核的漁業経営体（※）の育成に向けた取組が必要</p> <p>※ 年間販売額1千万円以上の経営体</p> <table border="1" data-bbox="409 1185 1160 1286"> <thead> <tr> <th></th> <th>H20</th> <th>H25</th> <th>H30</th> <th>H30/H20</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>管内漁業就業者数（人）</td> <td>8,276</td> <td>5,091</td> <td>5,295</td> <td>64%</td> </tr> <tr> <td>65歳以上の漁業就業者の割合（%）</td> <td>37%</td> <td>35%</td> <td>44%</td> <td>120%</td> </tr> </tbody> </table>		H20	H25	H30	H30/H20	管内漁業就業者数（人）	8,276	5,091	5,295	64%	65歳以上の漁業就業者の割合（%）	37%	35%	44%	120%	<p>○ 新規漁業就業者の確保・中核的漁業経営体の育成</p> <p>■ 漁業担い手確保・経営力強化支援事業 （水産部） 圏域内の漁業に関する情報発信や漁業就業希望者への漁業体験の場の提供のほか、法人化等に関する勉強会を開催</p> <p>■ 明日の浜人発掘事業 （宮古水産振興セ） 宮古水産高校と連携し、内陸部の中学生を対象とした出前授業等を実施</p>	<p>【地経費】</p>
	H20	H25	H30	H30/H20														
管内漁業就業者数（人）	8,276	5,091	5,295	64%														
65歳以上の漁業就業者の割合（%）	37%	35%	44%	120%														

地域振興プラン	現状・課題	令和5年度の具体的な事業内容	備考
<p>【重点3：DX】</p>	<p>③ 水産物の付加価値向上・販路拡大 令和3年度に水産庁が実施した「水産加工業者における東日本大震災からの復興状況アンケート(第9回)」において、「生産能力が8割以上回復」の回答87%に対し、「売上が8割以上回復」の回答は48%に留まっている。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、インターネットを利用した食料消費が増加していることから、ECサイトを含めた売上回復に係る支援が必要</p>	<p>○ 水産加工業原料・人材確保支援事業 (水産部、宮古・大船渡水産振興セ)</p> <p>■ 加工原料確保・付加価値向上 水産加工業における原料確保や付加価値向上に向けた取組を支援</p> <p>○ いわて三陸水産販路多角化事業</p> <p>■ 販売力の強化 ECによる販売力強化に向けた講習会を開催するとともに、水産加工業者のECサイトの改善を支援</p>	<p>【地経費】</p> <p>【地経費】</p>
<p>【重点2：GX】</p> <p>【重点4：安全・安心】</p>	<p>④ 漁港等の整備推進 老朽化による施設の機能低下が懸念されるほか、近年の海洋環境の変化等により、自然災害の規模や頻度が高まっていることから、漁港機能の保全及び強化が必要</p>	<p>○ 漁港施設の機能保全・機能強化 (水産部)</p> <p>■ 水産物供給基盤機能保全事業 防波堤・岸壁の鋼製施設など緊急度の高い施設の保全</p> <p>■ 漁港施設機能強化事業ほか 地震・津波に対応した防波堤・岸壁等施設の機能強化</p>	<p>【本庁】</p>
<p>12 地域特性を生かした生産性・収益性の高い農業を盛んにします</p> <p>【重点1：自然減・社会減対策】</p> <p>【重点3：DX】</p>	<p>① 地域農業を担う経営体の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規就農は、就農相談会の開催や支援策の情報提供により、直近5年間は雇用就農を含め151人(30人/年)となっており、引き続き新規就農者の確保・育成が必要 沿岸地域は、狭小で急峻な農地が多く、販売額1千万円以上の経営体数の割合は、県平均以下であり、担い手の経営安定化に向け、規模拡大や単収向上の取組促進が必要 <p>■ 気仙地域スマート農業推進事業</p> 	<p>○ 新規就農者の確保</p> <p>■ 釜石地域中山間集落育成モデル事業 (農林部) 新規就農者を含む多様な担い手確保に向けた農業入門塾の開催や情報発信、農家体験等の受入体制整備</p> <p>○ 中心経営体の規模拡大</p> <p>■ 気仙地域スマート農業推進事業 (大船渡農林振興セ)</p> <p>■ 宮古地域園芸経営体モデル育成事業 新規 (宮古農林振興セ・農普セ) スマート農業技術の普及拡大に向けた研修会の開催</p>	<p>【地経費】</p> <p>【地経費】</p> <p>【地経費】</p>

地域振興プラン	現状・課題	令和5年度の具体的な事業内容	備考
<p>【重点2：GX】</p> <p>【重点3：DX】</p> <p>【重点4：安全・安心】</p>	<p>② 地域特性を生かした農林産物の産地力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 主要園芸品目の作付面積は、増加傾向。産地力強化に向け、新規栽培者や労働力の確保等による大規模規経営体の育成が必要 肉用牛は、離農等により飼養頭数が漸減傾向。酪農は、個体乳量が増加傾向にあるが、県平均を下回る状況。規模拡大の促進と飼養管理技術の向上が必要 <p>■宮古地域園芸経営体モデル育成事業</p> 	<p>○ 主要園芸品目や地域特産品の生産拡大</p> <p>■ 宮古地域園芸経営体モデル育成事業 新規 (宮古農林振興セ・農普セ)</p> <p>園芸の大型経営体育成に向け、労働力確保に係る作業体験会や優良事例への視察研修会の開催</p> <p>■ 宮古地域畜産経営体育成事業 新規 (宮古農林振興セ)</p> <p>畜産経営体の収益性向上に向け、肉用牛の繁殖管理技術研修会の開催及び酪農の畜舎環境の改善を指導</p>	<p>【地経費】</p> <p>【地経費】</p>
<p>【重点1：自然減・社会減対策】</p>	<p>③ 地域の農林水産物を生かした6次産業化や集落活動への支援 【変更】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響等により、産直施設の販売額は減少傾向。新規顧客確保の取組への支援が必要 高齢化が進行した集落において、農地維持活動への意欲低下が懸念。活動の活性化に向けた支援が必要 県内では、ジビエの認知度は高くなく、消費拡大や参加ハンター確保に向けた取組への支援が必要 <p>■金石地域中山間集落育成モデル事業</p>  <p>■ジビエ振興事業</p> 	<p>○ 産直施設等の経営力向上支援</p> <p>■ 宮古地域産地直売パワーアップ事業 (宮古農林振興セ)</p> <p>産直施設の集客力・販売額の向上に向け、マーケティングに基づく経営改善計画の策定と実践を支援</p> <p>■ 金石地域中山間集落育成モデル事業 (農林部)</p> <p>集落活動の活性化に向け、省力的な農地維持方法の実証や産直施設を核とした集落活動のモデルを育成</p> <p>■ いわて三陸ジビエ産地創造事業 新規 (農林部)</p> <p>ジビエの事業化や認知度向上に向けた研修会等の開催及びPR活動の実施</p>	<p>【地経費】</p> <p>【地経費】</p> <p>【地経費】</p>

地域振興プラン	現状・課題	令和5年度の具体的な事業内容	備考																																				
<p>13 豊かな森林資源を生かした林業・木材産業を盛んにします</p> <p>【重点1：自然減・社会減対策】</p> <p>【重点2：GX】</p> <p>【重点3：DX】</p> <p>【重点4：安全・安心】</p>	<p>① 意欲と能力のある林業経営体の育成と計画的な森林整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 林業従事者数は、横ばい傾向であるが、計画的な森林整備を進めるため、林業経営体の育成及び特に増加している保育作業を担う林業従事者の確保が必要 造林は増加傾向であるが、2050年度までに温室効果ガスの排出量実質ゼロを実現するため、再造林や間伐等の森林整備を促進することが必要 シカ被害額は増加。森林所有者の造林意欲の喚起と造林木の健全な成長のため、シカ食害対策が必要 <p>■造林実績</p> <table border="1" data-bbox="412 730 1039 938"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>釜石</td> <td>25ha</td> <td>60ha</td> <td>92ha</td> <td>25ha</td> <td>58ha</td> </tr> <tr> <td>宮古</td> <td>37ha</td> <td>50ha</td> <td>49ha</td> <td>70ha</td> <td>50ha</td> </tr> <tr> <td>大船渡</td> <td>48ha</td> <td>30ha</td> <td>37ha</td> <td>54ha</td> <td>47ha</td> </tr> <tr> <td>局計</td> <td>110ha</td> <td>140ha</td> <td>178ha</td> <td>149ha</td> <td>155ha</td> </tr> <tr> <td>県計</td> <td>876ha</td> <td>962ha</td> <td>987ha</td> <td>993ha</td> <td>1,103ha</td> </tr> </tbody> </table> <p>■造林作業</p> 	区分	H29	H30	R1	R2	R3	釜石	25ha	60ha	92ha	25ha	58ha	宮古	37ha	50ha	49ha	70ha	50ha	大船渡	48ha	30ha	37ha	54ha	47ha	局計	110ha	140ha	178ha	149ha	155ha	県計	876ha	962ha	987ha	993ha	1,103ha	<p>○ 持続的な森林資源の確保に向けた森林整備促進</p> <p>■ 林業新規参入者スキルアップ事業 新規 (農林部)</p> <p>林業へ新規参入した建設業者等に対して、スキルアップのための技術研修等を実施</p> <p>■ 森林環境保全直接支援事業</p> <p>■ いわて環境の森整備事業</p> <p>■ 造林木シカ被害対策実証事業 (大船渡農林振興セ)</p> <p>大苗等植栽試験や食害防止チューブ効果調査等による造林木のシカ被害対策の実証</p>	<p>【地経費】</p> <p>【本庁】</p> <p>【本庁】</p> <p>【地経費】</p>
区分	H29	H30	R1	R2	R3																																		
釜石	25ha	60ha	92ha	25ha	58ha																																		
宮古	37ha	50ha	49ha	70ha	50ha																																		
大船渡	48ha	30ha	37ha	54ha	47ha																																		
局計	110ha	140ha	178ha	149ha	155ha																																		
県計	876ha	962ha	987ha	993ha	1,103ha																																		
<p>【重点2：GX】</p>	<p>② 地域材の安定供給と利活用の促進 【変更】</p> <ul style="list-style-type: none"> 木材利用のPRが低調。公共施設や非住宅部門の木造・木質化や地域材利用の需要拡大に向けた普及啓発等の取組が必要 計画的な林道整備や間伐等森林整備を実施しているが、継続して基盤整備、良質材の生産が必要 3町（岩泉、住田、大槌）で森林認証を取得。森林認証材利用拡大のため、PRと需要の喚起が必要 	<p>○ 地域材の安定供給及び利用促進</p> <p>■ 釜石地域材普及啓発事業 新規 (農林部)</p> <p>民間施設等への地域材製品の導入 (普及展示)</p> <p>■ 路網整備の推進及び森林整備の促進</p> <p>■ 森林認証材の利用促進 (農林部)</p>  <p>[地域材の普及啓発]</p>	<p>【地経費】</p> <p>【本庁】</p> <p>【ゼロ予算】</p>																																				

地域振興プラン	現状・課題	令和5年度の具体的な事業内容	備考																																										
	<p>③ 特用林産物の産地力向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原発事故等の影響により原木しいたけ生産者数や生産量が減少。安全・安心な生産に向けた支援が必要 ・ 価格も低迷。市場相場に左右されない収益構造への転換（販売チャンネルの多角化）による生産者所得の向上が必要 <p>■ 原木しいたけ産地活性化促進事業</p> 	<p>○ 安全な原木しいたけ生産と、消費拡大・販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 放射性物質検査と栽培管理指導 ■ 生産者や新規就業者に対する栽培技術研修の開催 ■ いわて三陸原木しいたけ元気な産地づくり事業 新規（宮古農林振興セ林務室） <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内商談会等への参加や道の駅と連携した消費拡大キャンペーンの実施 ・ 乾しいたけ品評会及び生産技術交流会の開催 	<p>【本庁】</p> <p>【ゼロ予算】</p> <p>【地経費】</p>																																										
<p>14 多様な資源と新たな交通ネットワークを生かした観光産業を盛んにします</p>	<p>① 地域資源と新たな交通ネットワークを生かした観光地域づくりの推進</p> <p>三陸沿岸道路や内陸横断道路等の新たな交通ネットワークの活用、三陸鉄道やジオパークなどの沿岸ならではの観光資源を活用した、観光誘客と周遊・滞在の促進による、観光消費の拡大に向けた取組が必要</p> <p>■ 圏域別入込客数（延べ人数）（千人回）</p> <table border="1" data-bbox="421 1094 1155 1297"> <thead> <tr> <th>圏域</th> <th>H22年</th> <th>R元年</th> <th>R2年</th> <th>R3年</th> <th>R元年比</th> <th>H22年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全県</td> <td>28,956</td> <td>29,213</td> <td>16,879</td> <td>15,601</td> <td>53.4%</td> <td>53.9%</td> </tr> <tr> <td>県央</td> <td>8,871</td> <td>9,681</td> <td>5,392</td> <td>4,581</td> <td>47.3%</td> <td>51.6%</td> </tr> <tr> <td>県南</td> <td>11,394</td> <td>11,511</td> <td>6,447</td> <td>6,100</td> <td>53.0%</td> <td>53.5%</td> </tr> <tr> <td>沿岸</td> <td>5,823</td> <td>5,350</td> <td>3,349</td> <td>3,173</td> <td>59.3%</td> <td>54.5%</td> </tr> <tr> <td>県北</td> <td>2,868</td> <td>2,670</td> <td>1,692</td> <td>1,747</td> <td>65.4%</td> <td>60.9%</td> </tr> </tbody> </table>	圏域	H22年	R元年	R2年	R3年	R元年比	H22年比	全県	28,956	29,213	16,879	15,601	53.4%	53.9%	県央	8,871	9,681	5,392	4,581	47.3%	51.6%	県南	11,394	11,511	6,447	6,100	53.0%	53.5%	沿岸	5,823	5,350	3,349	3,173	59.3%	54.5%	県北	2,868	2,670	1,692	1,747	65.4%	60.9%	<p>○ 三陸観光推進リスタート事業費 一部新規（産業振興室）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 隣県、北海道からの誘客促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 震災学習を核とした教育旅行誘致に係るプロモーションの実施（隣県、北海道胆振地域） ■ 首都圏等からの誘客促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県外旅行エージェントへのプロモーション等による東日本大震災津波伝承館をゲートウェイとした県外（首都圏、名古屋）からの誘客促進、沿岸圏域内の周遊化促進 <p>○ 道の駅等を活用した広域観光推進事業（産業振興室）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 道の駅を核とした誘客・周遊促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 夏季・冬季の誘客周遊キャンペーンの実施 ・ 道の駅周遊パンフレットの作成 	<p>【広域】</p> <p>【地経費】</p>
圏域	H22年	R元年	R2年	R3年	R元年比	H22年比																																							
全県	28,956	29,213	16,879	15,601	53.4%	53.9%																																							
県央	8,871	9,681	5,392	4,581	47.3%	51.6%																																							
県南	11,394	11,511	6,447	6,100	53.0%	53.5%																																							
沿岸	5,823	5,350	3,349	3,173	59.3%	54.5%																																							
県北	2,868	2,670	1,692	1,747	65.4%	60.9%																																							

地域振興プラン	現状・課題	令和5年度の具体的な事業内容	備考																																																																																										
<p>【重点3：DX】</p> <p>■教育旅行広域圏別入込数</p> <table border="1" data-bbox="136 485 1149 738"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">H22年</th> <th colspan="3">R元年</th> <th colspan="3">R2年</th> <th colspan="3">R3年</th> </tr> <tr> <th>校数</th> <th>人数</th> <th>シェア</th> <th>校数</th> <th>人数</th> <th>シェア</th> <th>校数</th> <th>人数</th> <th>シェア</th> <th>校数</th> <th>人数</th> <th>シェア</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>沿岸局</td> <td>110</td> <td>10,617</td> <td>5.5%</td> <td>306</td> <td>17,634</td> <td>8.2%</td> <td>361</td> <td>18,019</td> <td>8.0%</td> <td>588</td> <td>31,829</td> <td>11.8%</td> </tr> <tr> <td>盛岡局</td> <td>1,333</td> <td>79,346</td> <td>41.4%</td> <td>1,603</td> <td>100,491</td> <td>47.0%</td> <td>1,866</td> <td>93,857</td> <td>41.6%</td> <td>2,122</td> <td>112,212</td> <td>41.7%</td> </tr> <tr> <td>県南局</td> <td>998</td> <td>98,573</td> <td>51.4%</td> <td>1,261</td> <td>91,593</td> <td>42.8%</td> <td>1,949</td> <td>109,483</td> <td>48.6%</td> <td>1,742</td> <td>119,808</td> <td>44.5%</td> </tr> <tr> <td>県北局</td> <td>13</td> <td>3,300</td> <td>1.7%</td> <td>73</td> <td>4,067</td> <td>1.9%</td> <td>67</td> <td>4,121</td> <td>1.8%</td> <td>103</td> <td>5,085</td> <td>1.9%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,454</td> <td>191,836</td> <td></td> <td>3,243</td> <td>213,785</td> <td></td> <td>4,243</td> <td>225,480</td> <td></td> <td>4,555</td> <td>268,934</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(出典：いわての観光統計「教育旅行者・外国人観光客の入込動向」)</p> <p>【重点3：DX】</p>		H22年			R元年			R2年			R3年			校数	人数	シェア	沿岸局	110	10,617	5.5%	306	17,634	8.2%	361	18,019	8.0%	588	31,829	11.8%	盛岡局	1,333	79,346	41.4%	1,603	100,491	47.0%	1,866	93,857	41.6%	2,122	112,212	41.7%	県南局	998	98,573	51.4%	1,261	91,593	42.8%	1,949	109,483	48.6%	1,742	119,808	44.5%	県北局	13	3,300	1.7%	73	4,067	1.9%	67	4,121	1.8%	103	5,085	1.9%	合計	2,454	191,836		3,243	213,785		4,243	225,480		4,555	268,934		<p>② 震災学習を核とした教育旅行の誘致、滞在型旅行商品の造成等に向けた観光情報発信力の強化や受入態勢の充実 【変更】</p> <p>震災学習を核とした教育旅行、企業研修、団体ツアーや個人旅行など、震災伝承と防災学習への対応や誘致等が必要</p> <p>③ 内陸地域や東北・北海道・首都圏等と三陸地域を結び、外国人観光客も視野に入れた広域観光の推進 【変更】</p> <p>ウィズコロナの定着とともに、今後の都道府県間の競争激化や、インバウンド需要の段階的な回復を見据えた、国内外からの誘客促進と受入態勢の強化が必要</p>	<p>○ 三陸ジオパーク、みちのく潮風トレイルとの連携促進</p> <p>■ 一部新規 (産業振興室)</p> <p>■ 三陸ジオパーク、みちのく潮風トレイルを活用した交流人口の拡大</p> <p>・各地域で行われているみちのく潮風トレイルのイベントを活用した誘客・周遊の促進</p> <p>・ジオパークを切り口としたフォトロゲイニング大会の開催</p> <p>○ 交通ネットワークを活用した県際連携、周遊促進事業</p> <p>(産業振興室)</p> <p>■ 交通ネットワークの活用</p> <p>・北海道胆振総合振興局との相互観光プロモーションの実施</p> <p>・三陸鉄道と連携した誘客の促進</p> <p>・三沿道、横断道、宮古港を活用した周遊情報の提供</p> <p>・気仙沼地域との連携による誘客の促進</p> <p>・仙台圏や近県タウン誌等に観光PR情報を掲載</p> <p>○ 観光客受入態勢の向上支援</p> <p>■ 一部新規 (産業振興室)</p> <p>■ 国内外からの受入態勢強化</p> <p>・宿泊事業者の経営力及びおもてなしの向上支援</p> <p>・インバウンド再開に対応したニーズ把握等や受入態勢の整備</p>	<p>【地経費】 【広域】</p> <p>【地経費】</p> <p>【地経費】</p>									
		H22年			R元年			R2年			R3年																																																																																		
	校数	人数	シェア	校数	人数	シェア	校数	人数	シェア	校数	人数	シェア																																																																																	
沿岸局	110	10,617	5.5%	306	17,634	8.2%	361	18,019	8.0%	588	31,829	11.8%																																																																																	
盛岡局	1,333	79,346	41.4%	1,603	100,491	47.0%	1,866	93,857	41.6%	2,122	112,212	41.7%																																																																																	
県南局	998	98,573	51.4%	1,261	91,593	42.8%	1,949	109,483	48.6%	1,742	119,808	44.5%																																																																																	
県北局	13	3,300	1.7%	73	4,067	1.9%	67	4,121	1.8%	103	5,085	1.9%																																																																																	
合計	2,454	191,836		3,243	213,785		4,243	225,480		4,555	268,934																																																																																		

地域振興プラン	現状・課題	令和5年度の具体的な事業内容	備考															
<p>15 整備が進む社会基盤を産業振興に生かします</p>	<p>① 新たな交通ネットワークによる産業競争力の強化 地域振興に資する更なるインフラ整備と活用が必要</p>	<p>○ 物流や交流を支える道路整備 (土木部、大船渡・岩泉土木セ)</p> <p>■ 物流の基盤を支える道路整備や観光地へのアクセス性を向上する道路整備の推進</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>道路改良等 (主) 釜石遠野線 中村～青ノ木 (釜石市) (国) 455号 乙茂 (岩泉町) (国) 107号 白石峠 (大船渡市・住田町)</p> </div>	<p>【本庁】</p>															
	<p>② 物流の高度化に向けた港湾機能の強化とポートセールスの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長期化する世界的な物流混乱などの影響により港湾の利用は伸び悩んでおり、港湾の利活用促進に向けた取組が必要 ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、クルーズ船の寄港の取りやめが続いていたが、一部国内クルーズについて再開の動きがあり、寄港拡大に向けた取組が必要 <p>■ コンテナ貨物取扱数(実入り)の推移 (TEU)</p> <table border="1" data-bbox="472 1075 1061 1230"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>釜石港</td> <td>5,452</td> <td>6,782</td> <td>5,737</td> <td>5,357</td> </tr> <tr> <td>大船渡港</td> <td>1,854</td> <td>2,773</td> <td>2,386</td> <td>3,352</td> </tr> </tbody> </table>		H30	R1	R2	R3	釜石港	5,452	6,782	5,737	5,357	大船渡港	1,854	2,773	2,386	3,352	<p>○ 港湾機能の充実とポートセールスの推進 (土木部、宮古・大船渡・岩泉土木セ)</p> <p>■ 港湾取扱貨物量の拡大</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>関係市と連携し船社及び荷主企業へのポートセールスを推進</p> </div> <p>■ クルーズ船寄港拡大に向けた取組の推進</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>関係市と連携しクルーズ船社へのポートセールスを推進</p> </div> <div data-bbox="1429 1091 1951 1439" data-label="Image"> <p style="text-align: center;">クルーズ船 (宮古港)</p> </div>	<p>【本庁】</p>
	H30	R1	R2	R3														
釜石港	5,452	6,782	5,737	5,357														
大船渡港	1,854	2,773	2,386	3,352														